

# 災害時等にも対応できる、安心の施設機能。

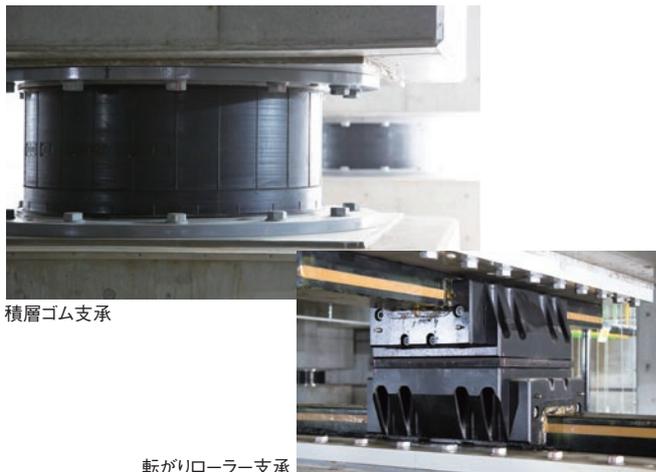
## 災害時対応

1F救急入口廊下及びカンファレンスルームに大災害時の患者受入用の電源・医療ガス設備を設置し、災害時には救命救急センターに隣接したトリアージスペースとして利用できます。

## 地震対策

- 耐震化・液状化対策  
支持地盤のある地下17mまで地盤改良を施工しています。
- 免震化  
大地震における機能維持のため建物全体を免震化しています。

**免震装置** ・積層ゴム支承 18基 ・転がりローラー支承 15基  
・鉛プラグ入り積層ゴム支承 20基 ・油圧ダンパー 6基



積層ゴム支承

転がりローラー支承

## 診療・看護の継続対策

- 商用電源2系統、発電機2系統、合計4系統で安全かつ信頼性の高い停電対策を実施しています。
- 重要機器及びナースコールへの電源が無停電電源で2重化されています。



ナースコール

無停電電源

## 電源の確保

- 増設・更新した合計5500kVAの自家発電機で電力会社からの供給停止時にも電力供給できます。
- 増設・更新した合計300kVAの無停電電源装置で重要な医療機器の電源を確保しています。



自家発電機 4号機

## 給水設備の二重化

- 平常時は南病棟屋上設置の専用高置水槽から供給し、非常時には既設病棟高置水槽からも供給出来るようにしています。
- また、緊急遮断弁を設置し、地震等の災害時における漏水のリスクを軽減しています。



専用高置水槽

# 今後、さらに充実していく病院。

## ■病院再開発整備計画配置図



## ■病院再開発整備年次計画

整備計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①南病棟 新築				◎6月30日稼働					
②手術棟 新築									
③東病棟 改修 西病棟 改修									
④中央診療棟 改修									
⑤外来診療棟 改修									
⑥自家発電機棟 新築									
⑦ヘリポート 新築									

※現時点での計画表(予定)です。

### ◎南病棟建物概要

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部(内部梁)鉄骨造 建築面積 2,771.33㎡  
地上8階地下1階 延べ面積 14,591.70㎡  
耐震性 免震構造 病床数 272床  
竣工 平成26年3月31日

## 発行:香川大学医学部附属病院

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1  
TEL. (代表)087-898-5111